

2018年11月22日1版

京都市立病院にて臨床研究を受けられた患者さま、ご家族の皆さまへ

消化器がんと静脈血栓に関する研究へのご協力をお願い

京都市立病院消化器内科では、消化器がんで静脈血栓症を発症した患者さんを対象とした臨床研究「消化器癌における静脈血栓症の現状と治療」を実施いたします。

本研究は実施にあたり京都市立病院臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、京都市立病院長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

がんにする薬物療法はいわゆる抗がん剤に加え、分子標的薬、免疫療法など新たな薬剤や治療法の登場で治療効果が向上しています。一方、治療期間が長期化することで、がんに伴う合併症や使用される薬剤による副作用のコントロールが重要視されています。肺塞栓症（エコノミークラス症候群）や深部静脈血栓症は静脈血栓症と呼ばれ、がんの合併症の中でも注意すべき合併症ですが、治療薬として2014年から飲み薬の新たな抗凝固療法薬が登場することで治療法も進歩しています。しかし、抗凝固療法は治療効果の反面、がんからの出血を助長することがあり、消化器がんに関してはしっかりと管理の元で使用する必要があります。消化器がんにおける静脈血栓症の現状を調査し、抗凝固療法薬の効果や副作用を詳細に検討することにより今後のがん治療に貢献できると考えておりますので、是非ご協力をお願い致します。

研究の方法

対象となる患者さま：消化器がんの患者さまの中で静脈血栓症と診断された方。

研究期間：臨床研究倫理審査委員会承認後から2020年3月31日まで。

方法：電子カルテ上の年齢、性別、身体所見、病歴、治療内容および期間、血液検査結果、画像検査結果などを用いた後方視的研究を行います。後方視的研究とは既に通常の保険診療の中で得られた情報を調査するものです。研究のための追加検査や治療など、患者さまに新たな負担が生じるわけではありません。

個人情報の取り扱いについて：情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、この研究の成果を発表する場合にも、個人が特定されることはありません。

実施責任者

京都市立病院 消化器内科 部長 吉波尚美

お問い合わせ先

当該研究に関して、研究対象の患者さま、あるいはご家族の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2020年3月31日までに下記連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。なお、上記までに申し出がなかった場合には参加を了承していただいたものとさせていただきます。ただし、研究参加拒否の申し出があった時点で既に研究結果が公表されていた場合など、検査結果を破棄することができない場合もございます。

連絡先 京都市立病院 消化器内科

電話番号：075-311-5311（京都市立病院）

担当者名 吉波尚美（よしなみ なおみ、研究責任者）